

㈱神戸製鋼所加古川製鉄所の降下ばいじんの 自主管理目標値超過について（令和5年7月度）

○ 概要

市が測定している、降下ばいじんの測定結果について、7月度の製鉄所影響値が3.25 t/km²/月で、㈱神戸製鋼所加古川製鉄所の自主管理目標値である、3.0 t/km²/月を超過したことが9月1日に判明した。

降下ばいじんの分析結果(令和5年7月度)		(単位:トン/km ² /月)	
測定地点	不溶性物質(a)	不溶性物質バックグラウンド平均(b)※	製鉄所影響値(c) (c)=(a)-(b)
加古川神鋼ビル	4.30	1.05	3.25
別府小学校	3.77	1.05	2.72
尾上小学校	1.73	1.05	0.68

※環境監視センター、山手中学校、東神吉小学校、志方公民館、平荘小学校の不溶性降下ばいじん量の平均値

1. 背景

㈱神戸製鋼所加古川製鉄所は、県、市、地元と締結した環境保全協定において、周辺環境への粉じん飛散抑制のため、自主管理目標基準として市が測定をしている3カ所（加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校）の製鉄所影響値（その他市内5箇所の平均値を自然的要因のバックグラウンドとして除いた数値）を3.0 t/km²/月以下となるように管理基準を設けて管理を行っている。

2. 判明後の対応状況

8月4日の測定データ速報値にて自主管理目標値の超過が見込まれたため、8月7日に兵庫県・市が合同で㈱神戸製鋼所加古川製鉄所に立入調査し、7月度の自主管理基準超過の状況等を9月末までに報告するよう指示している。

分析事業者からの正式な測定結果は、9月1日夕方に確定し、㈱神戸製鋼所加古川製鉄所へは9月4日に伝えた。

3. 今後の予定

㈱神戸製鋼所加古川製鉄所では、令和3年度に3ヶ月連続で自主管理目標値を超過したため、原因究明のため対策グループで検証を行い、一般環境集じん機の増設等の対策を行い、今年の4月から対応している。今年はその対策による効果を検証する年度であるが、今回の超過の原因究明と対策についても詳細調査し、9月末までに原因と対策について報告するよう指導している。

4. その他

㈱神戸製鋼所加古川製鉄所は市からの通知を受けて、同日中に尾上、別府町内会連合会会長及び東播磨漁業協同組合に説明し、その後記者発表及びホームページにて公表した。

以上